

2010年実践的防災まちづくりコーディネーター養成講座

《講義録5限目》

投稿者:「防災塾・だるま」中村 俊光

- ◆開催月日:2010年10月28日(木)
- ◆開催時間:18:30~20:30
- ◆開催場所:神奈川大学横浜キャンパス

《メインテーマ》避難所運営に係わる実践力の向上

- ◆本日のテーマ◆避難所運営を体感する②(団地編)ー現任の避難所運営責任者から聞くー
避難所運営を体感する③(戸建編)ー避難所運営の達人から聞くー

一部:避難所運営【団地編】



《講師》福田武司氏

旭区左近山第二小学校
地域防災拠点運営委員会 事務局長

◆自己紹介で「ぬすみ」と「のぞき」がモットーだといきなりのカミングアウト。場内の笑いを誘う前ふりで始まった第一部。

◆防災講演・シンポジウム・セミナーや他拠点の防災訓練などを時間ある時は必ず「のぞき」、いいものは「ぬすみ」、自分の地区に役立つものは取り入れる。常に我が街を考えておられると感じた。約2000世帯を預かるなかで、参加自治会役員が2年や1年毎に交代する拠点運営に危機感をもち、各自治会から一本釣りで防災拠点運営委員を募り、

本年度は89名(当初は30名)の委員で運営。避難所生活に必要な備品(宿泊体験から懐中電灯の不足を発見)の補充やトイレ対策のための竹(イベント廃棄品)の確保、また避難者カードの事前作成(2000枚保有)など、避難生活に即応できる対策を着実に実施されている実体験を聞く事が出来ました。

二部:避難所運営【戸建編】



《講師》小糸昭平氏

横浜市神奈川区 中丸町内会



司会の佐藤さん



◆御歳81歳。70歳まで現役、営業職で全国を飛び回り、引退後4年半の病院ボランティアを経験。今年、後進に町会長譲るも復帰拒まずの精神。感服。

◆防災に係わる関係機関(行政含む)への精力的なアプローチのなかで、拠点運営にまつわる問題への苦言・提言もありましたが、拠点運営に掛ける並々ならぬ熱意を感じた。4町約7000名を対象とした広域避難場所(大学)問題、行政からの助成金(拠点運営費など)問題、医療拠点問題、防災訓練問題など、多方面からの切り口を示して頂いた。

避難所運営には各町内会・自治会でのリーダー(各分野の有識者など)育成が重要。新潟県小千谷市との交流で「仮拠点」の重要性や戸建対策として「避難時は電気のブレーカーを切る」を再認識。また避難所運営時の本部は、家庭科室の利用(水がでる・炊事ができる・スペースが広い)推奨などの話を頂きました。